

臨床研究のお知らせ

神経障害性疼痛における プレガバリンの治療継続に影響を及ぼす背景因子の検討

1. 研究の目的・意義

プレガバリンは、神経障害性疼痛の痛みを和らげることを目的に広く使用されています。しかしながら、めまいや傾眠、意識消失などの副作用の出現などから、治療の継続ができないなど、治療効果が十分に発揮されていない状況にあります。

今回、神経障害性疼痛に対して、プレガバリンの処方開始された患者さんのプレガバリンの処方状況、痛みの変化、副作用の出現状況などについて調査を行い、プレガバリンの治療継続に影響を及ぼす関係性を調査することを目的としています。

2. 研究の方法

- (1) 2017年4月～2018年9月の期間に、神経障害性疼痛に対して、新規にプレガバリンが処方され、このみ薬局(清須店)に来局された患者さんを対象に調査を行います。
- (2) 保険薬局に管理されている調剤録をもとに、性別、年齢、身長、体重、投与開始24週間までの治療継続状況、痛みの強さの変化、副作用の発現状況について調査を行います。

3. 研究への参加とその撤回について

今回の研究では、保険薬局において、既に管理している患者さんの記録を使用させていただきます。研究への参加は患者さんの自由意思であり、辞退されても不利な扱いを受けることは一切ありません。この研究の対象となる方で、参加の辞退を希望される方はご連絡ください。

4. 個人情報の保護について

個人情報保護法に基づき個人情報の管理を行い、本研究で得られた個人情報は、本研究目的以外には使用されることはありません。個人情報の取り扱いには十分注意し、情報の紛失や本研究の参加者個人が特定されることを防ぐため、聞き取り調査データは、愛知学院大学薬学部臨床薬剤学講座において、それぞれパスワードを設定したファイルに記録し、USBメモリに保存して、鍵のかかるキャビネットに保管します。そのため、第三者が同講座の職員やデータベースへの不正アクセスを介さずに、直接参加者を識別できる情報を閲覧することはできません。

5. 研究結果の公表について

この研究で得られた成果は、国際・国内学会発表や論文発表を予定しております。その際、個人を識別できる情報は一切含みません。

6. 研究を担当する薬剤師および健康被害が発生した場合の連絡先

この研究のことで何かの分からないことや心配なことがありましたら、いつでも、こちらに記載されている薬剤師または相談窓口にお尋ねください。

研究責任者(薬剤師): 講師・渡邊法男

連絡先: 052-757-6766 (愛知学院大学薬学部臨床薬剤学講座)